

## 宇宙に一番近い街 ヒューストン

北米三菱商事 嶋田 暢一



今年6月にコミック『宇宙兄弟』が18年半にわたる連載を終えました。全432話、累計発行部数3,500万部を超える人気作品がついに完結しました。『宇宙兄弟』は、宇宙飛行士を目指す兄弟の成長物語ですが、JAXAやNASAへの綿密な取材を背景に、宇宙飛行士選抜試験の緊張感やヒューストンでの訓練生活、ジョンソン宇宙センターの日常風景まで丁寧に描かれていました。多くの日本人読者にとって、ヒューストンは「NASAのある街」であるだけでなく、「宇宙飛行士が夢を追う街」として親しまれるようになったのではないのでしょうか。

『宇宙兄弟』がヒューストンへの関心を高めたことは間違いないように思います。近年、Space Center Houstonを訪れる日本人観光客が増えているように感じますが、弊社にて長年にわたりSpace Center Houstonへの寄付を行っており、そのご縁からNASA関係者による特別ツアーに参加させていただく機会があります。訓練施設の裏側や歴史的な管制設備、実物のロケットや宇宙船を目の前にすると、コミックの中で描かれた世界が

現実の重みを伴って迫ってきます。文化が街の魅力を伝え、その街が物語に現実味を与える。こうした好循環はヒューストンの大きな財産だと感じます。

私たちが住むここヒューストンは宇宙に一番近い街です。宇宙は特別な産業であると同時に、ごく身近な日常の一部でもあることを実感します。今年は、そのことを改めて意識させられる出来事がいくつもありました。かつて宇宙開発の主役はNASAをはじめとする国家機関でしたが、現在では、SpaceXを筆頭に民間企業が宇宙開発を牽引する時代になりつつあります。6月12日にナスダックに上場したSpaceXは、調達額約750億ドルという史上最大規模のIPOとして世界の注目を集め、初日の株価急伸を経て市場価値は2兆ドルレベルとなりました。イーロン・マスク氏個人も、世界初の「トリリオネア」として大きく報じられました。テキサス州最南端のブラウンズビル近郊にあるStarbaseでは、巨大宇宙船スターシップの開発と試験飛行が続いています。SpaceXのすごさは、単に大型ロケットを開発したことではありません。打ち上げ後のブースターを自動制御によって地上へ帰還させ、繰り返し再利用できる仕組みを実用化したことにあります。多数のエンジンがコンピューターによって瞬時に協調制御され、巨大な機体の姿勢や速度を精密に管理することで、ブースターは発射地点付近まで正確に戻ってきます。従来は一度使用したら廃棄されていたロケットを何度も利用できるようになったことで、宇宙輸送コストは大幅に低下しました。イーロン・マスク氏が掲げる月面基地や火星移住といった壮大な構想も、こうした地道な技術革新の積み重ねによって初めて現実

味を帯びています。ヒューストンから数時間の距離にあるStarbaseは、まさに次世代宇宙開発の最前線と言えるでしょう。

国家主導の宇宙開発も着実に前進しています。皆様ご存じの通り、NASAのアルテミス計画は、人類を再び月へ送り返すことを目的としており、2026年4月にはアルテミスIIが4名の宇宙飛行士を乗せて月周回飛行に成功しました。これは人類が有人で月周辺空間へ到達した初めてのミッションであり、アポロ計画以来およそ半世紀ぶりの歴史的成果となりました。次のアルテミスIIIは、当初予定されていた月面着陸ではなく、地球軌道上での実証飛行に位置づけが変わり、ブルーオリジンとSpaceXが開発する着陸機の連携テストをする予定です。本格的な月面着陸は2028年のアルテミスIVに委ねられる予定ですが、着実に「月に還る」道筋が描かれつつあります。

その先を見据える上で重要なのが国際宇宙ステーション（ISS）の後継問題です。ISSは2030年前後の運用終了が予定されており、その後はStarlab Space、Axiom Space、Vastといった民間企業が開発する商業宇宙ステーションが低軌道活動の拠点になると期待されています。NASA自身も、将来的には宇宙ステーションを保有・運営するのではなく、民間企業が提供する宇宙イン

フラの利用者として関与する方向へ移行しようとしています。かつて国家プロジェクトとして始まった有人宇宙活動が、民間企業による商業インフラとして発展しつつあります。宇宙はもはや政府だけのものではなく、企業や投資家、研究機関、さらには一般市民も参加できる新しい経済圏へと変わり始めています。

『宇宙兄弟』が描いたのは、人が宇宙を目指す夢の物語でした。その夢を育てる文化、そして、その夢を実現に近づける技術と資本の両方が交差する場所がヒューストンです。『宇宙兄弟』が残した「宇宙への憧れ」が、次にどのような物語や技術へ受け継がれていくのか。ヒューストンに暮らす一員として、その歩みを楽しみに見守っていききたいと思います。



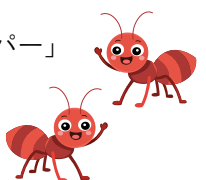
## 日本の秋の食べ物に触れながら 楽しく遊びましょう♪

日時：9月25日(金) 10:00-10:30  
場所：三水会センター・キッズルーム  
参加費：無料



## 9月のあそぼーかい テーマは『食欲の秋』

内容：とらおくん、とらこちゃんのご挨拶  
紙芝居 「くいしんぼうのありさん」  
工 作 「さつまいも」  
今月の歌 「やきいもグーチャーパー」  
体 操 「サンサン体操」  
お誕生日会



お誕生日のお友達にステッカーをプレゼント

あそぼーかい終了後、ミニ交流会を予定しています（参加自由、無料）



2026年8月9日

# 能登半島震災復興 チャリティコンサート

2024年1月1日に石川県能登地方を震源として発生したマグニチュード7.6の地震により、能登半島は大きな被害を受けました。その中で、伝統の輪島塗も大きな影響を受けたもののひとつでした。

2回の夏休みを利用して石川県で倒壊家屋の片付けボランティアに携わった鈴木崇右君は、特に輪島塗の手仕事に感動しました。昨年、鈴木君は被災地から救出された輪島塗を洗い、磨き、ヒューストンに運びました。それらを日本人会の新年会でオークション販売し、皆さんからの寄付金と合わせて、この夏、輪島市の輪島漆器商工業組合へ届けました。さらに帰米後は、輪島塗復興のためのチャリティ公演の開催を企画するなど、日米で継続的な支援を行っています。

Noto Earthquake Relief  
Charity Piano Concert

Hand to Hand, Heart to Heart  
～手から手へ、想いをつなぐ～

Produced by Taka Suzuki

Performed by Taka & Hiro Suzuki, Kana Mimaki

August 9, 2026, Kawai Piano Gallery, Houston



■ 鈴木崇右君が泥から救い出した輪島塗の食器



8月9日（日）、募金活動とあわせて鈴木君によるピアノコンサートが開催されました。会場となった素晴らしいピアノが数多く置かれている河合楽器のコンサートホールには、鈴木君の高校の先生や友達を含む約120名の方が来場されました。入口では鈴木君が募金活動の一環で創作した日本語と英語のバイリンガル絵本をご両親が販売していました。家族総出での募金活動には、頭が下がりました。

コンサートでは、総司会も鈴木君が務めました。英語で今回の能登半島震災復興チャリティコンサートの趣旨、自分が能登半島に行って復興のボランティア活動を行った時の話、輪島塗の素晴らしさ、そして何よりも自分は日本人であること、遠く離れていても祖国である日本のことを思っていると強調されました。プレゼンテーションの能力の高さに皆さんは驚かされていました。



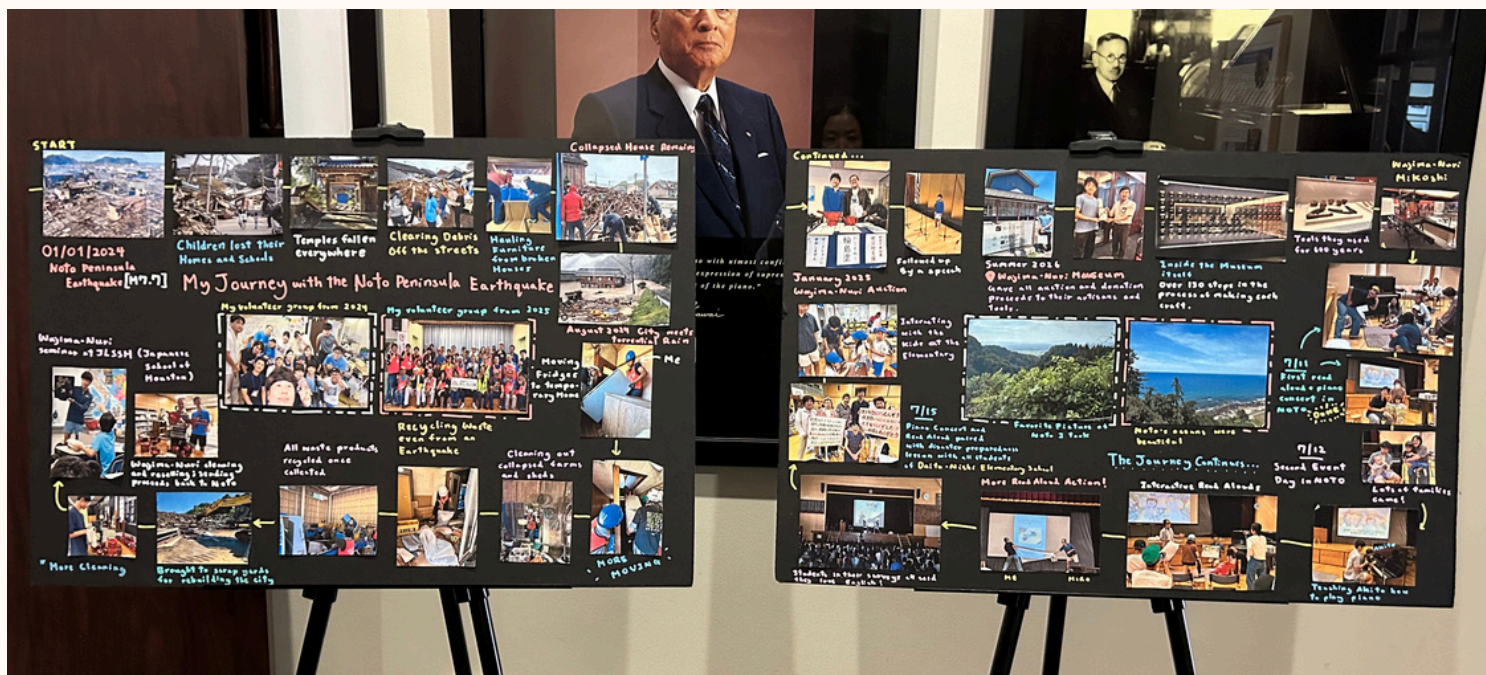
曲目は、久石譲氏の“One Summer Day”から始まり、ショパンのWaltz Op.18とScherzo Op.31を演奏。休憩後は弟の英右君がラヴェルの難曲を見事に弾きこなすと、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。ハイライトは指導者の三牧可奈先生と2台のピアノで演奏されたラフマニノフのピアノ協奏曲第2番でした。最後は、崇右君がお世話になった母親に捧げる曲としてシューマンの“Widmung Dedication（献呈）”を演奏してコンサートは終了しました。

兄弟で音楽を楽しみ、演奏のレベルを向上させていることが伝わってきました。これも指導者の三牧先生とご両親の支援があってのことです。素晴らしい演奏を聴かせていただきました。

#### ■ 師匠の可奈先生とともに



#### ■ 能登半島震災復興のボランティア活動



#### ■ 皆さんからの寄付金は、仮設工房で活動を再開した輪島塗職人の道具購入に使われます



#### 《鈴木崇右君からのメッセージ》

能登復興チャリティコンサートへ多くの方にご参加いただき、心から感謝申し上げます。アメリカで生まれ育ちながら、ぼくの心の核にはいつも日本がありました。

2024年元旦のニュースに心を痛め、思わず飛び込んで始めた活動でしたが、復興作業中に日本の地方都市の深刻な過疎化の現実と豊かな資源を目の当たりにしました。課題と希望が見えたので、大好きな日本のために、今後も微力ながら日米で支援を続けてまいります。今後も皆様のお力をお借りできれば、こんなに嬉しいことはありません。

今後も能登半島震災復興の支援を継続しますので、皆様のご協力をお願いいたします。  
また日本人会では熊本地震復興募金活動も行っていますので、こちらもよろしくお願い申し上げます。  
(ヒューストン日本人会)





## 大盛況だった古本市のご報告と、新しい仲間のご紹介

8月22日（土）、三水会センターにて、本年度第2回目となる「古本市」を開催いたしました。

今回も、たくさんの皆様が貴重な本をご寄付くださり、また運営にも温かいご協力をいただきました。当日は会場一円に本が並び、多くの方々が自らの興味に合った書籍を探す姿が見られ、終始にぎやかな雰囲気でした。おかげさまで、今回も無事に古本市を終えることができましたことを、心より感謝申し上げます。

今回の古本市では、売上の冊数が1,581冊に上り、収益金は\$1,054となりました。また、事前に来訪をお申し込みくださった方は、計280名に上りました。皆様からお預かりした大切な収益金は、今後の生活・情報委員会の活動費として、より充実したイベントを皆様にお届けするために活用させていただきます。

なお、今回の事前予約につき、この場で大変恐縮ではございますが、一点、お願い事に触れさせていただきたく。今回はたくさんのお申し込みがあり、その結果予約が時間枠ごとに早く埋まったのですが、残念ながらNo-showの方も多数いらっしゃいました。その結果、ご希望の時間に来ることができなかった方も多く出たので、次回からは、できるだけ多くの皆様に公平にご参加いただけるよう、キャンセル関連の手続き及び規定の整備を進めてまいります。当日ご都合が悪くなった方には、できるだけ早めにご連絡いただけますよう、この先ご協力を何とぞお願いします。今後とも、皆様に快く楽しんでいただける古本市を目指して、生活・情報委員会の方でも様々な工夫を重ねていく所存です。

さて、そんな大盛況の古本市の会場で、ひときわ違った視点からイベントを見ていた人がいました。今年4月から商工会事務局に加わった、チャンス・ユーテンボーガード（Chance Uitdenbogerd）さんです。チャンスさんは、前職ではITネットワーク関連のエンジニアとして、システムの障害が起きたときに原因を探ったり、仕事の進め方を効率化したり、使いやすい仕組みを考案したりする業務に携わっていました。そんなチャンスさんが商工会事務局に来て、最初に驚いたことのひとつが、実は「まだ決まった運用ルールが整っていないこと」だったそうです。これまでの経験とは違う環境の中で、一から仕組みをつくっていくのは決して簡単なことではありません。それでも、事務局のスタッフと相談しながら、必要な整理を積み上げ、それらをルールの形にしていきました。「大変でしたが、やりがいのある挑戦でした」と話すチャンスさん。その言葉からも、目の前の課題に前向きに対処していこうという姿勢が伝わってきます。現在は、ホームページの編集やPC環境の整備など、事務局の仕事を陰に陽に支えています。何か問題が起きたときには、その場で解決するだけでなく、「次は



今回もたくさんの本を寄付していただきました

どうしたらもっとスムーズになるだろうか」と考えるのがチャンスさんの長所です。これまでのエンジニアとしての経験を生かしながら、体系的な発想で事務局の業務の改善に貢献してくれています。

そんなチャンスさんの「気付きの力」と体系的な発想は、今回初めて参加した古本市でも大活躍でした。実際に会場に立ち、皆さんの動きを見ながら、「ここを少し変えたら、もっとスムーズに動けそう」と考えたチャンスさん。受付と会計の一元化や、絵本コーナーを少し奥に配置して人の流れを良くする工夫など、具体的なアイデアを複数提案してくれました。「こうしたほうがいいですよ」と言うだけではなく、実際の様子をよく見て、どこを変えれば皆さんがもっと動きやすくなるのかを考える。そんなチャンスさんの姿を見てみると、エンジニアとして培ってきた分析力だけでなく、「みんなが気持ちよく過ごせるように」という日本人的な優しさ、気配りも感じられます。

普段はしっかりと仕事に向き合うチャンスさんですが、少し気になる素顔ものぞいてみました。小学生の頃に好きだった本は、『かいけつゾロリ』と『怪談レストラン』。失敗を恐れずに挑戦するゾロリのユーモアや、ちょっと不思議でドキドキする世界観に夢中になったそうです。今でもその頃の思い出は大切にしているとのこと。新しいことにも臆せず挑戦する今のチャンスさんを思うと、子どもの頃からの好奇心は今も健在なのかもしれません。



小学生の頃の  
愛読本シリーズ

そして、チャンスさんは新しいものにも目がありませ  
ん。特にヘッドホンやイヤホンなどの最新機器が登場する  
と、つついチェックしてしまうそうです。「新しいもの  
を知りたい、試してみたい」という好奇心は、仕事でもプ  
ライベートでも、チャンスさんの大きな魅力になっている  
ようです。これからは、商工会での仕事をしっかりと身に  
付けながら、これまでのエンジニアとしての経験も生か  
し、さらに新しい分野にも挑戦していきたいと話してくれ  
ました。新しい環境の中でも、周りをよく見て、問題があ  
ればその処方箋を考え、そして着実に形にしていけるチャン  
スさん。システムの発想はもちろんですが、何よりも、  
周りの人が少しでも気持ちよく、便利に過ごせるようにと  
優しく考えてくれるところが、チャンスさんの素敵なところ  
です。

古本市で皆さんが本との出会いを楽しまれたように、チ  
ャンスさんとの出会いも、商工会に新しい風を運んでくれ  
ています。これから事務局の中で、そしてイベントの場  
で、どのような新しいアイデアの提案や活躍などを見せて  
くれるのか、私たちも楽しみにしています。皆様も、商工  
会にお越しの際には、ぜひチャンスさんに気軽に声をかけ  
てみてください。少し照れながらも、きっと笑顔で応えて  
くれることと思います。生活・情報委員会は、これからも  
皆様に「参加してよかった」「また来たい」と思っていた  
だけの活動を目指して、事務局と共に力を合わせてまいり  
ます。新しい仲間、チャンス・ユートンボーガードさんと  
もども、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(文責：生活・情報委員長 根本真樹子)

連絡先：商工会事務局 info@jbahouston.org

## 三水会 クラブ

# Back to School セミナー#1の ご報告

7月30日、生活情報委員会・三水会クラブ主催の「バック・トゥ・スクール 第一弾セミナー」が開催され、多くの皆さまにご参加いただきました。

当日は、先輩ママさんたちからリアルな経験談を伺ったり、気になることを直接質問したりと、和やかな雰囲気の中で活発な情報交換が行われました。また、参加者同士で交流を深める機会にも恵まれ、皆さまに美味しいベーグルを囲みながらの楽しいひとときをお過ごしいただけたことと思います。

ご参加くださった皆さま、そして貴重な体験談をお聞かせくださった先輩ママの皆さま、本当にありがとうございました！



▲根本委員長（左）と先輩ママさんたち



▲リアル体験談を聞きました



▲参加者同士の交流タイム

## 9月開催の「Back to School セミナー#2」の 報告もお楽しみに！

### 令和7年度（2025-2026）8月 商工会常任委員会議事録

日 時： 2026年8月26日(水) 13:00-13:55  
会 場： United Way of Greater Houston CRC  
出 席 者： 57名（名誉会長 1名、名誉会員1名、常任委員41名、  
理事委員8名、代理正会員6名）  
司 会： 東 遼佑 幹事

※詳細については商工会の「[会員専用ページ](#)」をご参照ください。



よみきかせ

10/20 (火) 10:30~



お申し込みは商工会HPから



冒険する歯科医"Dr. Ned"の

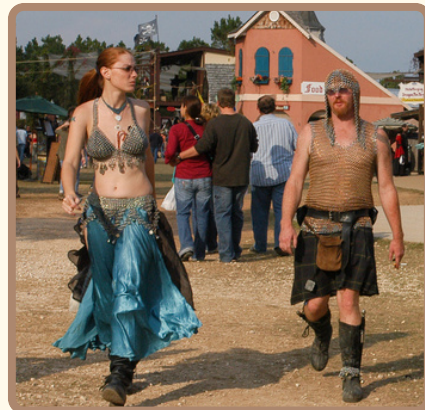
気ままなフォトアルバム 43

## ルネサンスフェスティバル・ヒューストン 不思議な秋祭り

初めてルネサンスフェスティバルの名前を聞いたとき、まだ子どもは小さいころだった。なんか名前からして、胡散臭いなあという感じで、本能的に避けていた気がする。だけど奥さんがどこからともなく聞いてきたのか、あれは実は行く価値あるらしいということが判明、行ってみることになった。フェスティバル、お祭りということで、日本のお祭りを想像して行ったのだけど、結構遠い。車で1時間以上かかる。さすがテキサスは広い。浴衣を着て草履をはいて、そぞろ歩きで行く感じではなく、こころからすでに身構えている自分があつた。

その場所らしきところに近づくと、向こうの雑木林がぼーっと明るくなっている。パトカーやらが交通整理をしている。急に雑木林の中に広大な駐車場が広がる、暗がりの中にヘッドライトやら、誘導灯が見える。何もないとこに急に広がる、異様な空間であつた。車から降りて、少し歩くと（こころが日本の祭りでのそぞろ歩きの距離感である）、ルネサンス調と思われる巨大なコンクリート製の門が見える。なんでゲートがコンクリートなのかという不思議がこの時からずーっと引っかかっている。ちょうどバブル期日本の新興遊園地のゲートが少しくたびれたみたいな感じのゲートで、とても秋祭りという感じではない。入場料もそれなりだ。

なかへ、なかへ。確かにルネサンス時代の騎士のようなコスプレの人もある、中には半分人間、半分馬のケンタウルスらしき人もいる。白塗りのパントマイムのような人、ギロチン、魔女にワインに魔術師。うすら怖い世界である。







でも一番気にかかるのはゲート同様、怪しい店たちがすべてコンクリート製なことだ。例えば2026年は10月10日から11月29日までの週末のみ、プラス ThanksgivingのBlack Fridayが1日足されるだけ。つまり年間合計17日くらいのためにこの広大な敷地に恒久的な街ができていなのだ、アリーナもある、遊園地のような乗り物もある。でも祭りのない348日間は閉鎖され無人の街になるのだ。その事実が余計この場所をうすら怖い不思議な場所にしてしまう。年に2回しか開かないアメリカの花火ショッブも衝撃的であるが、それをはるかに超えた不思議である。例えば日本のお祭りだと、終われば跡形もなく日常に戻るのだが、ここは終わって無人になっても、存在し続けるのだ。その348日の間にぜひ行ってみたいものだ。

お祭り自体は、日本の正しいお祭りのアメリカ版みたいな感じで、名物の巨大ターキーレッグはやはりおいしい。日本ならイカ焼きとか、フレンチドッグか？ビールにも合う。結構子どもの遊び場や、乗り物があるが、こたわりは、たぶんすべてルネサンスに合わせてか、人力である。

メリーゴーランドもそうだったかはっきり覚えてはいないが、ルネサンス調の衣装をまとった男たちが、わっせわっせと回してくれる。観覧車は人力だったはず。ディズニーとかでは味わえないものである。動物に触れたり、象に乗ったりもでき、他では経験できない体験ができる。そんな感じの現実離れしたお祭りで、1回行く価値はあります。侍のコスプレでもしていくと、なかなかウケるのではないかと思います。なお、僕の親父は昔テレビ関係の仕事をしており、広島に“8時だヨ！全員集合”が来た時には、自分の自転車に加藤ちゃんに乗って自分の自転車のみがテレビで鮮烈デビューしたり時代劇の撮影に使われた鎧兜をもらってきており、それを僕が譲り受け、ヒューストンに持ってきています。その鎧を着て2年前にこのルネサンスフェスティバルに参戦したこともあるのですが、これは大変な割に、そんなにウケることもなく、何人かの客が、一緒に写真を撮ったくらい、あまり割に合わない結果に。



ただ、昔の日本人の体力は恐ろしくすごかったということだけはよく分かった。着て歩くだけでもものすごく疲れることが判明。あれを着て戦（いくさ）とか、無理。僕だったら、いざ鎌倉と言われても、絶対行かない。

まあそれは置いていても、1年に何日かしか人のいない、神隠しのような不思議なところですよ。確かに初めて行った時の、衝撃的な驚きや思考のバグりは、回数を積んでいくうちに、減ってきているものの、今でも時々、人のいない今は、あそこに静かに風だけが吹いているのだろうかとか、思います。今でもたまに行きたくなる、ルネサンスフェスティバル、おすすめです。なお、ルネサンスフェスティバルの動画は[こちら](#)から。

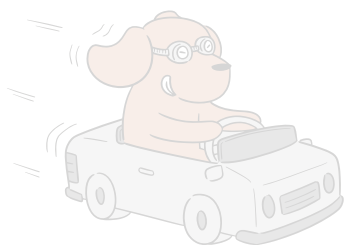
話は変わりますが、来月10月2日（金）、午後1時から5時まで、清水歯科医院にて28周年のパーティー兼、私のアメリカ審美歯科学会のアクレジットフェロー受賞記念パーティーがあります。出入りは自由です。

今回はオリジナル“スタートレック”（いわゆる“宇宙大作戦”）がテーマです。スタッフ一同、カーク船長、Mr.スポック、ドクター・マッコイなどに扮して待っています。今回はなんと、USSエンタープライズのブリッジにある、あの有名なカーク船長が座るCaptain's Chairもあります（カーク船長のサイン入り）。そこで記念写真も撮ることができます。患者さん以外でも歓迎ですので、特に“スタートレック”のファンの方は、ぜひ来てください。無料です。

その他の動画は、“冒険する歯科医”で検索  
または右のQRコードからアクセスしてください。  
チャンネル登録、コメントよろしくお願いします！







## 運転×私＝行動、ヒューストンLife

気づけばヒューストン駐在5年7か月。

私たち家族がヒューストンに来たのは、2020年11月。長男9歳、次男6歳でした。

当時はコロナ真っ只中で、制限が厳しい時期だったため、2週間の自宅隔離期間などを経て、学校に通い始めたのが12月初め。英語が話せない息子たちは、不安そうに学校の入り口を入れていったのを今でも覚えています。

あの頃は、学校に登校してくるクラスメイトは半分くらい。オンライン授業を受けるクラスメイトも大勢いて、なかなか友達もできず、家と学校を行き来するだけの日々でした。

宿題を出されても全く分からない。大きなスタンド型のホワイトボードを買い、英単語と日本語の意味を書き出して、毎日一緒に勉強していました（もはや私の英単語の勉強だったような気もしますが、笑）。少しずつ英語も理解し、話せるようになって、友達もでき始め……

今となっては、家での会話は英語（私以外）、子どもの成長は本当にすごいなと感心するばかりです！

そして、家と学校の行き来だけしていたのは、私も同じでした。

アメリカに来て半年を過ぎたころ、「そろそろ運転免許証を取ったら？」と夫に言われ、渋々勉強をし始めた私。なんで渋っていたかという、生まれてこの方、運転免許証を取得したことがなかったんです。

アメリカに来て最大のミッション、運転免許取得。私のバケットリストに入っている1つでした。PC画面と英文と向き合って仮免許証を取得して大喜びしたのもつかの間。「まずは広いところで練習だ」と夫に言われ、家の近所のモールの駐車場に行きました。

運転席に座った私。

“アクセルは右足で踏むって分かるけど、ブレーキってどっち足で踏むの？”

という質問にぎょとしていた夫でした。笑

無事、運転免許証を取得し、今となってはどこにでも運転していけるほど、運転が大好きになりました。そして、バケットリストに書いたアメリカ国内旅行、大自然の中運転できたことは、本当に夢のような時間でした。

アメリカ生活も慣れてきた頃、バケットリストに書いていた「15年ぶりにゴルフを再開したい」、「パン作りを習ってみたい」という話をいろんな友人に話していたら、「ゴルフ習ってるから一緒にどう？」、「パン教室始めるって方がいるから一緒に行こう！」とお誘いもあり、習い始めました。これがとても楽しい時間だったんです！習得できることの楽しさや、そこで新しい素敵な出会いもたくさんあって、私のヒューストン生活はどんどん充実していきました。

ヒューストン駐在、私にとっても子どもたちにとっても最高の財産になったのは間違いありません！



## 第260回 「免疫学が変える未来医療 —ワクチンからがん治療まで」

医師テキサスA&M大学 工学医学部（School of Engineering Medicine）教授  
先端工学免疫学センター センター長 辻 守哉

新型コロナウイルス感染症のパンデミック以降、「免疫」という言葉を耳にする機会が増えました。では、そもそも免疫とは何なのでしょう。

私たちの体には、細菌やウイルスなどの病原体から身を守る防御システムがあります。これが免疫です。侵入した異物を見分けて攻撃し、その情報を記憶し、再び出会ったときには素早く排除します。

私は1987年に渡米して以来、ニューヨーク大学、ロックフェラー大学、コロンビア大学で免疫学の研究に携わってきました。そして今年3月、38年以上暮らしたニューヨークを離れ、ヒューストンにあるテキサスA&M大学 School of Engineering Medicine（EnMed）に研究の拠点を移しました。

この間、免疫学は医療を大きく変える学問へと進化しました。私が研究を始めた頃の大きなテーマは、「免疫細胞がどのように病原体を認識するのか」という基本原理の解明でした。現在では、その知識がワクチン、感染症対策、がん治療、再生医療や老化研究にも応用されています。

### 1. ワクチンは「免疫の記憶」を利用する

免疫学の成果を最も身近に感じられるものの一つがワクチンです。病原体そのもの、あるいはその一部を利用して、あらかじめ免疫に「敵の特徴」を覚えさせます。天然痘の根絶や小児麻痺（ポリオ）の激減は、ワクチンなしには実現できませんでした。

私自身も長年、マラリアワクチンの研究に携わってきました。30年ほど前には、フィールド研究やマリ大学医学部での教育・研究のため、西アフリカのマリ共和国を何度も訪れました。そこで、昨日まで元気だった子どもがマラリアにより数日で命を落とす現実を目の当たりにしました。

マラリアは現在でも年間約60万人の命を奪い、その多くはアフリカの子どもたちです。ワクチン開発が難しい理由の一つは、マラリア原虫が体内で姿や居場所を変えながら、巧妙に免疫の攻撃から逃れることにあります。

### 2. 免疫を強く動かす「スイッチ」

私たちの研究グループは、免疫細胞の一種であるnatural killer T（NKT）細胞に注目してきました。この細胞を活性化する「糖脂質」を利用して、ワクチンの効果を高める研究を進めています。

ワクチンによる免疫反応を後押しする補助剤を「アジュバント」と呼びます。私たちが開発した糖脂質「7DW8-5」には、ワクチンによる免疫反応を強く増強する作用があります。

さらに2023年には、7DW8-5を鼻から投与することで、新型コロナウイルス、インフルエンザウイルス、RSウイルスなどの呼吸器ウイルス感染を動物モデルで抑えられることを報告しました。将来は感染症予防だけでなく、がん免疫療法への応用も期待しています。





### 3. がん治療を変えた免疫学

近年、免疫学が医療に最も大きな変化をもたらした分野の一つが、がん治療です。手術、放射線、抗がん剤に加え、患者自身の免疫を利用してがんを攻撃する「がん免疫療法」が重要な治療法になっています。

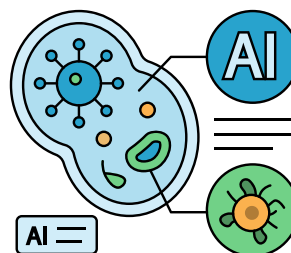
代表例が「免疫チェックポイント阻害剤」です。免疫系には、反応が強くなりすぎないようにする「ブレーキ」がありますが、がん細胞はこの仕組みを利用して免疫の攻撃から逃れます。免疫チェックポイント阻害剤は、そのブレーキを解除し、免疫細胞に再びがんを攻撃させる治療です。一部の患者では、従来では考えられなかった長期生存も可能になりました。

一方で、同じ治療でも効く患者と効かない患者がいます。「なぜ違いが生じるのか」。この違いを解くことが次の課題です。

### 5. 1個の細胞から病気を読み解く時代へ

近年では、「シングルセル解析」によって免疫細胞を1個ずつ調べることが可能になり、患者ごとに異なる免疫状態を詳しく解析できるようになりました。人工知能（AI）を組み合わせ、膨大な免疫データから新しい治療標的や病気の仕組みを見つける研究も進んでいます。

こうした技術は、患者一人ひとりの免疫の違いに合わせた、より精密な治療につながると期待されています。



### 6. 免疫学の次の時代へ

私は研究者として40年以上、免疫学の発展を間近で見してきました。1980年代には、現在のようながん免疫療法も、シングルセル解析も、AIを使った免疫研究もありませんでした。基礎研究として始まった発見が、数十年を経て患者さんの命を救う治療につながっていることに深い感慨を覚えます。

そして免疫学は、まだ完成した学問ではありません。むしろ、これからがさらに面白い時代だと考えています。

今後10年、20年の間に、「がんは長く付き合いながらコントロールできる病気になった」「多くの感染症がワクチンで予防できるようになった」と振り返る日が来るかもしれません。

その未来を切り拓く研究は、今日も世界中で続けられています。免疫学の進歩が、一人でも多くの患者さんの健康と希望につながることを願いながら、私自身も研究を続けていきたいと思います。

次回は林秀憲先生です。林先生は、Texas Children's Hospital（TCH）で先天性心臓外科のクリニカル・インストラクターとして勤務されています。





# “これってDV？”と思ったら —エイダに相談してみませんか

家族やパートナーとの関係で、“何かおかしい”、“少しつらい”と感じながらも、家庭内のことだからと一人で抱え込んでしまうことはありませんか。その背景には、相手からの支配や暴力が隠れているかもしれません。“DV”と聞くと、殴る、蹴るといった行為を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、それだけではなく、怒鳴る、無視する、相手をばかにする、生活費を渡さない、働くことを認めない、友人との付き合いや外出を制限する、携帯電話を勝手にチェックする——こうした行為もDVにあたる場合があります。“モラハラ”も精神的DVの一つです。

こうしたことが続くと、“自分が悪いのかも”、“私をもっと頑張れば変わってくれるかも”と思い、自信を失ってしまうことがあります。また、住む場所、お金、子ども、在留資格などへの不安から、すぐに離れることが難しい場合もあります。特に、配偶者の赴任に伴ってアメリカにきた方の中には、自由に使えるお金や移動手段が限られている方もいます。また、英語で情報や相談先を探すこと自体が大きな負担になる場合もあります。

こうしたことが続くと、“自分が悪いのかも”、“私をもっと頑張れば変わってくれるかも”と思い、自信を失ってしまうことがあります。また、住む場所、お金、子ども、在留資格などへの不安から、すぐに離れることが難しい場合もあります。特に、配偶者の赴任に伴ってアメリカにきた方の中には、自由に使えるお金や移動手段が限られている方もいます。また、英語で情報や相談先を探すこと自体が大きな負担になる場合もあります。

## 日本語で相談できるAADA/エイダ

AADA (Asians Against Domestic Abuse/エイダ) は、DVに悩むアジア系コミュニティの方々を支援する非営利団体です。2001年に設立され、2021年からは在ヒューストン日本国総領事館と連携し、テキサス州とオクラホマ州に住む日本人への支援も行っています。

AADAには、駐在員やそのご家族、お子さんがいる方、交際中の方、国際結婚をしている方など、さまざまな立場の方から相談が寄せられています。女性だけでなく、男性からの相談もあります。

「これってDVなのかな?」「誰かに話を聞いてほしい」「これからどうすればいいか分からない」、そんな段階でも相談できます。相談したからといって、離婚や別居を勧められるわけではありません。AADAは、利用できる支援や制度について情報を伝え、選択肢を一緒に整理しながら、相談した方が自分で納得できる道を選べるようサポートします。

## 知っておくことも大切な備え

AADAでは個別相談のほか、DVについての情報提供やウェビナーも行っています。2026年6月に開催された“アメリカでの離婚と自立”ウェビナーでは、DVサバイバーの経験に加え、別居や離婚後の生活費、資金計画、退職積立制度などについて紹介しました。

今すぐ離婚や別居を考えていなくても、自分名義の口座や大切な書類、利用できる支援制度について知っておくことは大切な備えになります。情報があれば、いざというときに選べる道が増えます。

また、駐在員を受け入れる企業にとっても、社員とその家族が安心して海外生活を送れる環境づくりは大切です。企業の皆さまにもAADAの活動を知っていただき、情報共有や連携を通して、社員とご家族を支える取り組みにご協力いただければ幸いです。

## 一人で抱えなくても大丈夫

家庭のことを人に話すのは勇気がいることです。でも、つらいと感じているなら、一人で抱え続ける必要はありません。DVかどうか自分では分からなくても、まず誰かに話してみることで、気持ちや状況を整理できるかもしれません。

“これってDV?”と思ったときは、一人で抱え込まず、日本語で相談できるAADAを思い出してください。

今回は、海外で子育てをするご家庭に  
知っておいていただきたい  
“ハーグ条約”についてお話しします!



@AADAINC



執筆: 藤原あや

AADAアウトリーチ・コーディネーター

ご相談お問い合わせは  
AADA 宮澤明音  
akane@aadainc.org





# テキサスで交通事故に遭ったら？

- 知っておきたい事故後の対応と補償 -



車社会のアメリカでは、交通事故の対応について覚えておくこともドライバーの責務といえる。  
本記事では、現場での対応と必要な手続きについて説明する。

## 現場ですべきこと

交通事故直後の初動と対策は日本とほぼ同じで、以下の通り。

- 01 安全を確保し、可能な限り交通の妨げにならないように車両を移動させる
- 02 同乗者や相手側にけが人がいないか確認する
- 03 911に通報し、事故の状況を説明する

911に通報することにより警察が派遣され、必要に応じて救急車が手配される。警察が到着すると、事情聴取が行われ、処理に必要な基本情報（当事者や目撃者の氏名、住所、連絡先、運転免許証番号、関係車両のナンバープレート、自動車保険情報、事故の状況など）を記載されたポリスレポートが作成される。この事故レポートに記載される過失の所在は極めて重要であるため、英語に自信がない場合は、英語が話せる知人・友人に連絡し、警察に的確な情報を伝えてもらうことが望ましい。警察への通報義務の要件は、州や管轄地域によって異なるため一概に説明はできないが、その後の法的責任や保険の適用に影響を及ぼす可能性があるため、やはり現場から通報しておくべきである。一方で、軽い事故の場合は警察が現場に来ない場合や、仮に警察が来たとしてもレポートを作成しないこともあるため、そのような場合には自分で基本情報を収集する必要がある。当事者間での情報交換に加え、事故現場や損傷箇所を写真や動画で記録しておくことと後々役立つことが多い。また、ドライブレコーダーを設置していると、あらゆる場面でその証拠能力が極めて有効に機能するため、まだ設置していない場合は、ぜひ設置を検討すべきである。

## 事故後の手続き

### けがの治療と費用

自分では大したことはないと感じていても、早急に医療機関を受診したほうがよい。軽い物損事故と思われる場合でも、後日、身体に症状が現れることは珍しくないからだ。また、利用する医療機関については、早期に弁護士に依頼した場合、その弁護士が提携している、または提携可能な医療機関を通して治療を行えば、案件が解決するまで治療費の支払いが不要となることがある。これは弁護士が損害賠償金を回収するまで、または回収できない場合でも治療費を支払わなくてよいという協定（レター・オブ・プロテクション）を医療機関と締結しているためである。このような提携先医療機関を利用することで、被害者は費用の心配をせず十分な治療を受けることができ、弁護士は相手方と賠償額増額交渉をより有利に進めることができる。なお、関連するすべての医療費の記録を保管しておくこと。

### 保険の請求

交通事故の後、事故の大小や責任の有無にかかわらず、早急に自分の保険会社に事故を報告しよう。保険会社への連絡が遅れると、証拠の散逸などが原因で補償内容に影響を与える可能性がある。また、過失のある相手方が無保険であったり、十分な保険がなかったりする場合でも、自分の保険の特約（UM / UIM特約 = Uninsured / Underinsured Motorist Coverage）によって、自分の保険会社から保険金を受け取ることができる。特に南部の州では、無保険または不十分な保険しか持たないドライバーが多いといわれているため、現在加入している自動車保険にUM / UIM特約がない場合は、追加で加入することをおすすめする。

また、日本では交通事故の際、事故の大小やけがの有無を問わず、保険会社が各種交渉を代行することが一般的だが、アメリカでは原則として保険会社は物損に関する交渉しか行わない。そのため、慰謝料（Pain and Suffering）の請求には弁護士による対応が必須となる。

## 弁護士への相談と費用

日本同様、弁護士を介した交渉により賠償額が増額される傾向にあるが、その増額幅はアメリカではさらに大きくなるのが実態だ。一般的に、交通事故を扱う弁護士は人身傷害（Personal Injury）を専門分野として掲げている。日本とは異なり、アメリカでは交通事故に関する弁護士費用は完全成功報酬型を採用していることが多い。そのため、弁護士費用を持ち出しで負担する必要はない。つまり、初回相談料も無料であり、解決し賠償金を得た際に初めて弁護士費用の支払いが発生する。通常、弁護士費用は賠償額の33.3%（提訴前）～40%（提訴後）が相場となる。この費用に加え、各種実費（医療費など）が清算され、その後に残った金額が依頼者に支払われる仕組みだ。「弁護士費用がかからない」と表現するのは正確ではないが、弁護士費用を持ち出して準備する必要があるため、日本と比べて弁護士に相談・依頼するハードルは格段に低いといえるだろう。

## 実際の事故解決例

筆者が扱った実際の交通事故のケースを、金額の内訳とともに解説する。

### ▶ Aさんのケース...示談

Aさんの車両が後方から追突され、責任が明白であった事故に遭い、むちうち症を負った。事故数日後に筆者へ相談があり、Aさんは提携医療機関で治療を受けた。症状回復後、弁護士と相手方との交渉により、示談金として4万5,000ドルの合意に至った。この示談金から、下表の計算で経費が差し引かれ、最終的にAさんの手元には約1万9,000ドルが支払われた。

重要な点は、示談が成立して初めて、示談金額から弁護士費用や医療費が差し引かれ、Aさんにその残額が支払われるという構造だ。本件でも、Aさんが早期に弁護士に相談し、弁護士の提携先医療機関を利用したことで、損害賠償金を回収するまで主な治療費を支払う必要がなく、Aさんの経済的負担が大幅に軽減された。さらに、提携先医療機関を利用したことで、治療費も60%程度に値引きされ、Aさんが受け取る賠償金が増加している。

### ▶ Bさんのケース...訴訟

Bさんは高速道路での衝突事故に巻き込まれ、半月板損傷を含む比較的重度の傷害を負った。このケースでは、いずれの車にもドライブレコーダーが設置されておらず、交渉が難航し、相手方と過失の有無および傷害の程度に争いが生じた。そのため、すぐに示談には至らず訴訟を提起し、ディスカバリー手続きの後、調停を経て和解が成立した。下表の通り最終的な和解金額は25万ドルであり、Bさんの手元には10万ドルが支払われた。

#### Aさんのケース むちうち症

|                            |            |
|----------------------------|------------|
| 損害賠償金額                     | 45,000 ドル  |
| 弁護士費用（示談金の 33.3%）          | -15,000 ドル |
| 医療費（提携医療利用）-15,000 ドル 値引き⇒ | -9,500 ドル  |
| MRI & 診断、カイロプラクティックなど      |            |
| 諸経費                        | -1,500 ドル  |
| 費用合計                       | -26,000 ドル |
| クライアント（Aさん）受取額             | 19,000 ドル  |

#### Bさんのケース 半月板損傷を含む比較的重度の傷害

|                             |             |
|-----------------------------|-------------|
| 損害賠償金額                      | 250,000 ドル  |
| 弁護士費用（示談金の 40%）             | -100,000 ドル |
| 医療費（提携医療利用）-140,000 ドル 値引き⇒ | -47,500 ドル  |
| 緊急搬送と半月板損傷の手術、ステロイド注射など     |             |
| 諸経費                         | -2,500 ドル   |
| 費用合計                        | -150,000 ドル |
| クライアント（Bさん）受取額              | 100,000 ドル  |



例えば①過失割合に争いがある場合、②損害賠償額に大きな開きがある場合には、被害者側が相手方に対して訴訟を提起することになる。アメリカでは、ディスカバリー手続きによって双方の証拠を相手方に開示する義務を負い、その過程で過失や損害に関する証拠がさらに具体的に明らかになる。その後、通常裁判前に調停が行われ、証拠がそろっていることから、ほとんどのケースが裁判に至ることなく和解が成立する。Bさんの場合、訴訟手続きを要したことにより弁護士費用が40%となったが、弁護士の提携医療機関利用する

ことで医療費の大幅な値引きがされ、結果としてBさんが受け取ることができた賠償金が増加した。しかし、ドライブレコーダーがなかったため過失の証明が困難となり、交渉が難航した。このケースからも、示談交渉や適正な賠償の確保において、ドライブレコーダーの重要性が明らかである。

引用先：『ニューヨーク便利帳』2026.03.03  
「アメリカ交通事故：治療費や弁護士費用は？」

## 八木 謙一

弁護士 | Partner

Adair Myers Stevenson Yagi LLC

Attorneys and Counselors at Law

713-522-2270

ky@am-law.com

www.am-law.com



【免責事項】本記事は、一般的な法律知識を提供するものであり、具体的な法的またはその他のアドバイスを目的としたものではない。また、事故解決例についても、その結果を保証するものではない。記載内容の正確性には十分留意しているものの、本記事の利用によって生じたいかなる損害については、筆者は一切の責任を負いかねるものとする。

## =Houston= お助けマップ



ヒューストンお助けマップは、ヒューストン日本商工会生活情報委員会ボランティア団体为中心となり2004年から作成が始まりました。現在はボランティア員が活動を引き継ぎ、学校や病院、お店、年間イベント等、ヒューストンでの生活に役立つ情報を紹介しています。

皆様の暮らしが豊かで楽しいものとなりますよう、是非ご活用ください！

お助けマップメンバーが交代でブログを更新中！



## 最新記事

### HoustonでHalloween！

親子で楽しめる

おすすめイベント

# 長かった夏休み お子さんはどんな サマーキャンプに 参加しましたか？

アメリカでは、長い夏休みを利用してサマーキャンプに参加する子どもたちがたくさんいます。

そこで、来年の夏の参考にさせていただければと、この夏、お子さまをサマーキャンプに参加させた方々にアンケートを実施、延べ21名の方から回答をいただきました。期間や料金などの情報は、実際に参加した当時のデータです。**最新の情報については、各自でご確認ください。**

回答が一番多かった

## テニス



本格的なスクールで、金曜日には試合あり。インドアなので涼しいのが良かった。

グループレッスンだと順番待ちの時間が長いので、来年はセミプライベートを検討中

対象年齢：場所により様々 5歳以下OKのところも！

- 料金と期間：A (5日間・3時間レッスン・インドア \$269)  
B (5日間・6時間レッスン・ランチ&プール \$325)  
C (4日間・90分レッスン \$150)  
D (4日間・60分レッスン \$60)

アウトドアは暑いし天候にも左右され突然のキャンセルも。



いろいろお試し

## サッカー・ジムなど

サッカー：A (平日5日間 9-15時ランチ付き \$314)

B (平日5日間 9-11時 \$150ぐらい)

ジム：A (1日中遊べて\$50~\$100ぐらい)

B (平日5日間 半日で\$200~\$300ぐらい)

その他スポーツ：ドッジボールやガガボールなど  
外遊び平日4日間12-16時で\$130ぐらい



無料で英語も学べる

## バイブルスタディ

場所：近所の教会

時間：午前中のみ、というところが多い

内容：聖書を読む、歌の練習、読み聞かせクラフトなどなど

最終日の夜はFamily Nightがあったという教会もありました。





## 地元の図書館の無料イベント

### チェス



場所：近所の図書館

対象：年齢制限無し 初心者から上級者まで

時間：6/8-6/12 10:30-12:00

いろいろな年齢の人とおしゃべりしながら  
チェスを学べて、参加させて良かったです。

## 室内で楽しく

### アート

長時間だったので  
子どもが飽きて  
しまいました。



対象：キンダーから

期間・料金：1週間で\$200-\$380ぐらい



体調不良などでお休み  
しても振替ができたので  
とても良かったです。

## 夏といえば



### スイミング (スイムチーム)

場所：コミュニティーのプール

対象：4-17歳

料金：\$150ぐらい / \$200ぐらい

期間：5月末から1ヶ月 平日早朝

親もレース運営に関わり、  
友達ができました。

住人かそうでない  
かで値段が変わりました。

## 参加費無料でプレゼントもいっぱい



アストロズ

### 野球・ソフトボール

場所：South Post Oak Sportsplex

対象：7-17歳

期間：9:30-12:00

6/1~6/5, 6/8~6/12, 6/15~6/19



金曜日にはグッズや野球カードをもらいました。  
冬や春にもキャンプをやっているようです。

## ヒューストンならではの

### 牧場キャンプ

場所：Katyの西側

対象：5-13歳

料金：\$300ぐらい

期間：4日間 9:00-13:00



いろいろな動物のお世話をすることができまし  
た。子どもにとって大変貴重な経験でした。



## 遊びながら学べる

### STEM



場所：高校など

対象：15歳以下

料金と期間：A (4日間 9:00-15:00 \$180)

B (5日間 9:00-17:00 \$280)



新しいお友だちができ  
ました。アメリカンなラン  
チ付きで子どもは喜んで  
いました。とても楽しか  
ったそうです。

-アンケートにご協力いただきありがとうございました-





# モアヒューストン



VOL.25 パンプキン・パッチの季節到来

子どもたちの長い夏休みが終わると、街のあちこちでかぼちゃの飾りを見かけるようになります。まだまだ残暑が厳しいとはいえ、気分だけでも季節は秋。ハロウィンとサンクスギビングのシーズンです。

「ワン! モア ヒューストン」第20回の記事(2025年11月発行)で、毎年10月に開催されるバークトーパー・フェスト(“Barktoberfest”)のご紹介をしましたが、今回は、毎年9月から10月にかけて私が犬と一緒に楽しんでいるパンプキン・パッチについてお話ししたいと思います。



## ▲子どもが喜ぶ写真スポット

パンプキン・パッチとは、直訳すると「かぼちゃ畑」。ヒューストンでパンプキン・パッチといえば、かぼちゃを集めて展示したり販売したりする場所のことを言います。中身をくり抜いてジャック・オ・ランタンの飾りにするかぼちゃを選びに来る人も大勢います。大きさも色も形も驚くほどさまざまな種類のものが見られて楽しいというだけでなく、家族でおしゃれをして記念撮影をする人が集まるアメリカならではの光景が見られて、私にとってはヒューストンで秋を感じる楽しいイベントの1つになっています。



ペットフレンドリーなイベントが開催されるFirst Christian Church▶

## ◀Memorial Drive United Methodist Church



まだ行ったことはないという方は、ご自宅の近くの教会でパンプキン・パッチを開催していないか、ぜひ調べてみてください。私のお気に入り、三水会館から車で10分ほどのところにあるMemorial Drive United Methodist ChurchとKatyのMorton Ranch RoadにあるFirst Christian Churchです。10月に入って、Memorial DriveをWilcrest DriveからBeltway 8方面に走っていると、右側にオレンジ色のかぼちゃが並んでいる前庭が目に入るはず。教会に向かって左奥にある駐車場に車を停めて、気軽にふらりと雰囲気を楽しみに立ち寄る人もたくさんいます。KatyにあるFirst Christian Churchは、“Pets in the Patch”というイベントも開催するほどペット・フレンドリーです。このイベントでは、地元の保護犬団体が譲渡可能な犬を連れてきて紹介したり、ペットフード店が犬用のおやつサンプルを配っていたり、犬と一緒に楽しめるようになっており、年々参加者が増えているようです。パンプキン・パッチを訪れて撮った愛犬の写真を、Houston PetTalk Magazineというフリーペーパーのフォト・コンテストに応募してみるのも良い記念になります。



## ▲日本では見かけないかぼちゃもたくさん

犬と一緒に出かける場合は、大勢の人が訪れる時間帯を避けて早い時間に到着できると、落ち着いてかぼちゃを探したり、写真を撮ったりできます。犬がかぼちゃをくわえて遊んだりしないように気をつけながら、毎年小さめのかぼちゃをいくつかピックアップして持ち帰ることにしています。サイズに応じて購入金額が変わりますが、1ドルのミニかぼちゃから30ドルを超える大物までありますので、皆様もぜひお気に入りの1つを見つけてみてください!



## イベント情報

■ Sep. 23 - Feb. 7, 2027

[Yoshitaka Amano: Big Bang@ Asia Society](#)

ファイナルファンタジーなどのキャラクターデザインで知られる天野喜孝氏の作品を紹介する展覧会が開催されます。西洋の幻想美と日本の繊細さを感じさせる独特のスタイルで国際的にも活躍する天野氏の油絵や墨絵など40点が展示されます。

■ Sep. 25 - Oct. 18

[State Fair of Texas @ Fairgrounds, Dallas](#)

55フィートの巨大なカウボーイ Big Texが迎えてくれる State Fair of Texas。ロデオに牛などの家畜ショー、遊園地、ナイトパレード、コンサートなど家族で楽しめるイベント。名物コーンドッグ(Corny Dog)にはターキーとベジタリアンオプションもあるそうです。

■ Sep. 29 - Oct. 4

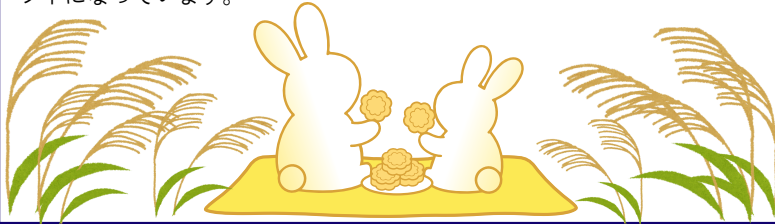
[The Sound of Music@ Hobby Center](#)

時代を超えて愛されるミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」が公演されます。「ドレミの歌」や「エーデルワイス」などの名曲と共に描かれる愛と不屈の精神、音楽の力をテーマにした物語です。

■ Oct. 9 &amp; 10

[THE R&B TOUR WITH USHER RAYMOND & CHRIS BROWN @ Reliant Stadium](#)

アッシャーとクリス・ブラウンが共同ヘッドライナーを務める北米ツアーを開始。R&Bの歴史を作ってきた2人の魅力を体感するステージがコンセプトになっています。



■ Oct. 2-4 &amp; 9-11

[Austin City Limits Music Festival @ Zilker Park](#)

音楽の街オースティンで開催されるシティ・リミッツ・ミュージックフェスティバル(ACL)。今年はCharli XCXなどが登場します。

■ Oct. 10

[Oktoberfest 2026@ POST](#)

ダウンタウンのPOST屋上にオクトーバーフェストがやってきます。厳選したビールの販売、ビールジョッキ持ち大会、ドイツ民族舞踊やポルカバンド生演奏など。入場無料ですがウェブサイトから申し込みが必要です。

■ Oct. 10 - Nov. 29 (週末開催)

[Renaissance Festival@Todd Mission](#)

ルネサンス調の衣装に身を包んだパフォーマーによるダンスショーや、馬に乗った騎士の対決など、まるでヨーロッパ中世にタイムスリップしたような世界。海賊やゴーストなど、週末ごとにテーマが変わります。チケットは事前にオンライン購入がお得。

■ Oct. 31 &amp; Nov. 1

[CAF WINGS OVER HOUSTON@ ELLINGTON AIRPORT](#)

秋空のもと飛行機が迫力のエアーショーを繰り広げます。空軍サンダーバードのデモンストレーション飛行のほか、真珠湾攻撃の再現もあります。

※内容は記事執筆時点の情報に基づいています。変更になる場合もありますので、お出かけ前に各自で最新の情報を主催者サイト等でご確認ください。(ファーガソンステガー 佐野仁美)

## 編集後記

暦の上では秋を迎えましたが、ヒューストンではなお厳しい暑さが続いております。皆様におかれましても、どうぞ体調にお気をつけてお過ごしください。

さて、ハーマンパークで開催された恒例の“ジャパンフェスティバル”。本号が皆様のお手元に届く頃には、多くの来場者でにぎわったことと思います。運営やボランティアなどに携わられた皆様、大変お疲れさまでした。

私自身、ヒューストン赴任後、さまざまな国や地域を訪れる機会がありますが、各地で日本食やアニメをはじめとする日本文化に触れるたび、日本のプレゼンスの高さを実感し、誇らしく感じます。今回のジャパンフェスティバルも、日本食や伝統文化、ステージイベントなどを通じて、この地で日本の魅力を広く発信する機会となったことと思います。当日の様子は今後の号でも紹介される予定ですので、ぜひ楽しみにしていただければと思います。

“この美しき我が国を汚すものは、何人たりとも許さない。”これは、今、日本で放映されているドラマの名台詞ですが、地政学的不安定さが増す現代だからこそ、改めて自国の良さに目を向け、それを大切にしながら海外に伝えていくことにも、意味があるように感じます。私も微力ながら、当地で活躍される皆様の姿や日本の魅力をお伝えできるよう、これからも誌面づくりに努めてまいります。

(編集委員 大平浩之)

ガルフストリームは毎月15日発行です。

編集委員および投稿募集中!

問い合わせ先: [sansuikai@jbahouston.org](mailto:sansuikai@jbahouston.org)

ガルフストリームは、ホームページでも閲覧可能です。

<https://www.jbahouston.org/gulfstream/>

発行: ヒューストン日本商工会  
発行責任者: 遠藤 宏治

編集委員長: 伊藤 義治  
構成・編集: ガルフストリーム編集委員一同

## 免責事項

掲載情報の正確性・安全性は保証しません。内容は更新等により変更・陳腐化する場合があります。掲載内容およびリンク先の利用に伴う損害について、当会は一切責任を負いません。リンク先は各運営者の責任であり、利用は自己責任でお願いします。

## 著作権等

本ニュースレターおよび記事の知的財産権は、ヒューストン日本商工会 (JBAH) または各執筆者に帰属します。権利者の書面許諾なく複製・配布・送信等を禁じます。許諾は JBAH [info@jbahouston.org](mailto:info@jbahouston.org) までご連絡ください。© 2025 Japan Business Association of Houston. All rights reserved.